

- ◇ ゆたかな歌唱表現をさせるにはどうするか。
- ◇ 楽器の演奏能力を伸ばすにはどうするか。
- ◇ 創造的な表現能力を伸ばすにはどうするか。
- 12 高郷村立山郷小学校 (校長 大塚久男)  
「創造的な表現活動を伸ばすための学習指導法」
- ◇ 創造的表現活動を伸ばすため、題材、用具、材料をどのように与え、どのように指導したらよいか。
- ◇ 表現活動を活発化するため、環境整備、情操教育をどうするか。
- 13 会津坂下町立坂下小学校 (校長 佐野迪雄)  
「視聴覚教材の特質を生かした学習指導法」
- ◇ 各教科ならびに生活指導のための校内放送カリキュラムの作成
- ◇ 環境の整備・視聴覚教育の強化・実技検修
- 14 勿来市立錦小学校 (校長 塩 光雄)「改訂指導要領に示された理科新教材の事例研究」
- ◇ 新教材の研究
- ◇ 効果的な指導法の研究
- 15 浪江町立浪江中学校 (校長 猪狩三九十)  
「英語の 聞くこと・話すことの研究」
- ◇ 学習指導上・特に音声面の問題点
- ◇ 指導計画の検討・改善
- ◇ 指導法の実験的研究
- ◇ 評価(音声面)の研究
- 16 原町市立原町第一小学校 (校長 渡辺 保)  
「社会科学習における段階的な地図指導について」
- ◇ 初歩的な地図の理解と作図の指導をどうするか
- ◇ 地図の書き方・見方・扱い方の指導をどうするか
- ◇ 社会科学習における地図・資料(統計・グラフ)を有効に取扱うにはどうするか。

## 2 高等学校

- ◇ 研究期間 昭和36年4月～昭和37年3月  
研究学校(高等学校)

昭和38年度から実施される新教育課程の円滑な運営をはかるために、学校種別からみた新教育課程と学習指導について、事前に研究を行なうために4校を、また、学校運営上もっとも問題の多い定時制夜間高校の運営について、21校をそれぞれ研究学校に指定したが、福島女子高校を除く他の4校は何れも中間発表会を催し関係学校に指針を与えた。

殊に会津工業高校の研究発表会には、東日本の各代表校の校長並びに教員が多数参加し、広い角度からの研究の成果を深めたことは大きな収穫であり、伊関校長を中心として全職員が協力し編集した「新教育課程の編成と学習指導」と題する資料は関係者の参考資料として推称したい。

研究指定校

方 部	研 究 課 題	学 校 種 別	研 究 校
石 城	新教育課程の編成と学習指導	男子普通高校	磐城高校
県 北		女子普通高校	福島女子校
相 双		総合高校	福島町高校
会 津		工業高校	会津工業校
県 南	夜間高校の運営について	夜間高校	高白河第二校

## 第13節 県立学校訪問

各学校の学習指導、生活指導および管理運営に関する助言と指導を行ない、県立学校経営の充実をはかり併わせて地区教員の参加により共同研修を行ない、その資質の向上をはかるため下記の要項により県立学校訪問を実施した。

### 1 訪問校と訪問者

期日	曜	学 校	指 導 主 事	管 理 主 事	生徒指 導主事
6 13	火	相農飯館分 校	渡辺, 古関, 壁谷沢, 遠藤 佐久間	平山	西
		相馬農業	〃	〃	〃
6 14	水	小高農工	〃	〃	〃
		浪江高校	〃	〃	〃
6 15	木	小高農工 津葛分校	〃	〃	〃
		船引高校	〃	〃	菅野
6 13	火	会津高校	米沢, 石川 横内	六角	好川
6 14	水	会津女子 耶麻山都舎 校	〃	〃	〃
6 15	木	耶麻野沢舎 同奥川分校	〃	〃	〃
6 12	月	会津農林	大原, 塩田 芳賀	遠藤	
6 13	火	会農西山 宮下分校	〃	〃	〃
6 14	水	川口高校 同昭和分校	〃	〃	〃
6 15	木	南会高 只見校舎	〃	〃	〃
		同つつじ丘 分	〃	〃	〃
		同南郷校舎	〃	〃	〃
9 13	水	四倉高校	米沢, 古関 白岩, 栗村	佐々木	鈴木